

宇都宮大学 農学部 農業環境工学科

教授 志賀 徹 先生

最終講義 「農業機械から食品システム工学へ」



Environmental Control Engineering Lab
環境制御工学研究室

日時：平成 25 年 2 月 6 日 (水) 15 時～16 時 30 分

場所：宇都宮大学農学部 基盤教育 B 棟 1223 教室

宇都宮大学
UTSUNOMIYA UNIVERSITY

志 賀 徹



昭和22年12月25日生（栃木県）

昭和41（1966）年 3月 栃木県立大田原高等学校卒業
昭和45（1970）年 3月 宇都宮大学農学部農業開発工学科卒業
昭和48（1973）年 3月 九州大学大学院農学研究科修士課程修了
昭和49（1974）年 7月 九州大学大学院農学研究科博士課程入学中途退学
昭和57（1982）年 3月 農学博士（九州大学）

職 歴

昭和49（1974）年 7月 九州大学農学部 助手
平成 2（1990）年 2月 宇都宮大学農学部 助教授
平成 7（1995）年 6月 宇都宮大学農学部 教授
平成13（2001）年 7月から 農業施設学会 会長
15（2003）年 6月まで
平成23（2011）年 4月から 農業機械学会 理事・関東支部長
25（2013）年 3月まで
平成25（2013）年 3月 定年退職

ご挨拶

宇都宮大学の農学部に入學し、卒業論文を専攻するときは迷いなく農業機械を選んだ。大学院に進むときは農産機械（ポストハーベスト工学）を専攻した。それから研究者としての道に入れてもらってからは多くを収穫後の農産物・食品の品質評価、品質保持とそれに関わる工学的な技術の開発に多くの時間を割いてきた。最近新しい生鮮食品の開発に興味を持って、周りを見回している。自分の考えで自由に研究分野が作れたのは何よりも恵まれていた。そして節々で関わって指導してくれた恩師、同輩、そして教えるために苦勞した学生、院生の存在がここまで生かしてくれたのだと思う。

九州大学での20年間、宇都宮大学での22年間で皆様へ感謝している。